

参加申込方法等

申込方法

以下の2つのいずれかの方法でお申し込みください。

①《インターネットのホームページ》

11月末日よりお申し込みいただけます。

当研究所ホームページ ■ 教育セミナー

クリック

ネットで申し込み

<http://www.sokyoken.or.jp>

②《FAX》

本ページ下段の申込書（FAX 専用）に必要事項をご記入の上、送信ください。

申込締切日 令和2年2月14日（金）

参加受付

ハガキあるいはE-mailにて受講票をお送りします。

E-mailの場合はプリントしてお持ちください。

参加費（研究紀要代を含む）

◆ 一般 2,000 円

◆ 学 生 1,000 円

【参加費は当日、現金でお願いいたします。】

連絡先

一般財団法人 総合初等教育研究所

東京都文京区大塚 3-16-12（〒112-8635）

TEL：03-5976-1309 FAX：03-5976-1518

<http://www.sokyoken.or.jp>

（担当：成田幸子／矢野洋子）

ご注意

- ・温度設定…室内暖房はエコロジーのため、全館 20℃に設定されています。
- ・昼 食……センター棟 2 階カフェテリア「ふじ」(500 席)
カルチャー棟 2 階レストラン「とき」(200 席)
がご利用いただけます。
- ・大ホール及び分科会室内は、飲食厳禁です。
- ・お弁当持参の方は、屋外または大ホール受付の奥にあるラウンジでお召し上がりください。

※ご記入いただきました「個人情報」は、本教育セミナーのためにのみ使用し、第三者への提供・開示はいたしません。

一般財団法人 総合初等教育研究所 主催

第23回 教育セミナー 参加申込書（FAX 専用）

※ 所定の欄にご記入の上、送信ください。複数人でご参加の場合には、この申込書をコピーして人数分を送信ください。

ご芳名	ふりがな	役職名
勤務先／学校名	TEL.	
ご自宅住所（〒 - ）	TEL.	
ご希望の分科会を1つだけ○でお囲みください。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ①国語科 ②社会科 ③算数科 ④理科 ⑤道徳科 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ⑥外国語 ⑦特別活動 ⑧授業技術 </div>		
E-mail		

※協賛会社からの教材情報・教育情報の提供がご不要の場合は（ ）に✓を入れてください。情報提供は不要（ ）



seminar

一般財団法人 総合初等教育研究所

FAX.03-5976-1518



第23回 教育セミナー

第10期第2年次研究

『新教育課程に基づく授業の創造』
—「深い学び」の実現と資質・能力の評価—

いよいよ新学習指導要領の全面実施が次年度に迫りました。各学校では、新しい授業づくり、外国語指導、学校のカリキュラムづくりと精力的に取り組まれていることと思います。この時期の対応こそが成否の鍵を握ると確信します。

授業づくりとその評価については、「単元を通して学びをどう深めるか」「見方・考え方を働かせる指導をどうするか」「3観点による評価をどう実施するか」など、様々な課題が生じています。

本研究所では、これらの課題に応じて各教科での実践研究を積み重ねてきています。

本年度は、第10期第2年次の研究成果を公開発表して、皆様のご意見・ご批評を賜りたいと存じます。



ご案内

日時 ▶ 令和2年2月29日[土] 受付 9時30分より
分科会 10時00分より
全体会 13時40分より

会場 ▶ 国立オリンピック記念青少年総合センター
東京都渋谷区代々木神園町 3-1



【ご注意】昨年度とは会場が異なります。



最寄駅のご案内

【小田急線】

参宮橋駅下車 徒歩約7分

【京王バス】

新宿駅 西口（16番）より代々木5丁目下車
渋谷駅 西口（40番）より代々木5丁目下車

HPの交通案内地図（電車でお越しの場合）
< <https://nyc.niye.go.jp/train/> >

主 催：一般財団法人 総合初等教育研究所

〒112-8635 東京都文京区大塚 3-16-12 tel. 03-5976-1309 fax. 03-5976-1518

<http://www.sokyoken.or.jp>

後 援：文部科学省・東京都教育委員会・川崎市教育委員会

協 賛：株式会社 文溪堂

I 分科会

【午前の部】

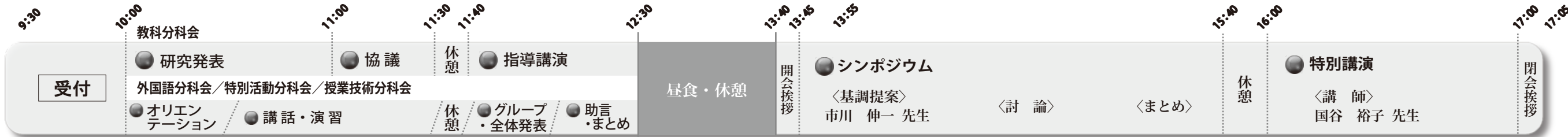
II 全体会

【午後の部】

教科分科会	国語科	テーマ 言葉の力に着目し、児童自らが考え表現する国語科の授業づくり 主 査 明星大学客員教授 邑上 裕子 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 菊池 英慈 先生 委 員 東京都青梅市立第二小 松井優子 先生 東京都目黒区立中目黒小 福山貴司 先生 東京都杉並区立久我山小 依田亜希子 先生
	社会科	テーマ 主体的・対話的な学びを通して深い学びを実現する社会科の授業づくり 主 査 立正大学特任准教授 石橋昌雄 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 小倉 勝登 先生 委 員 東京都立川市立第二小 綾邊 香代子 先生 東京都中野区立新井小 和知奈穂子 先生 東京都世田谷区立経堂小 吉岡泰志 先生
	算数科	テーマ 数学的に考える資質・能力を育成するための算数科の授業 主 査 算数数学教育合同研究会会長 廣田 敬一 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 笠井 健一 先生 委 員 東京都日野市立日野第三小 青木裕子 先生 神奈川県川崎市立宮前平小 齋藤康行 先生 東京都世田谷区立瀬田小 山口和也 先生
	理科	テーマ 問題解決を通して資質・能力を育成する理科の授業づくりと評価 主 査 國學院大學 准教授 寺本 貴啓 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 鳴川 哲也 先生 委 員 神奈川県川崎市立日吉小 齋藤照哉 先生 神奈川県横浜市立西が岡小 武田 陽 先生 東京学芸大学附属小金井小 葛貫裕介 先生
	道徳科	テーマ 『深い学び』に向かう授業と評価の工夫 主 査 全国小学校道徳教育研究会 顧問 馬場喜久雄 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 浅見 哲也 先生 委 員 東京都板橋区立板橋第四小 吉羽扶美子 先生 東京都小平市立小平第三小 安西優也 先生 東京都世田谷区立松丘小 齋藤優介 先生

教育課題分科会	外国語	テーマ 小学校外国語教育 評価から見直す指導の在り方 講 師 文部科学省初等中等教育局視学官 直山 木綿子 先生 実践発表 徳島県鳴門市板東小 坂田美佳 先生
	特別活動	テーマ 学級会を通したキャリア教育 ―「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点と評価― 主 査 國學院大學 教授 杉田 洋 先生 助言者 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 安部 恭子 先生 委 員 埼玉県嵐山町立志賀小 鈴木智尋 先生 東京都日野市立東光寺小 奥山良太 先生 神奈川県横浜市立権太坂小 源 憲一 先生

ワークショップ	授業技術	テーマ 支持的風土を醸成し、子供と教師、子供と子供の心をつなぐ学級経営のアイデア 主 査 一般財団法人 総合初等教育研究所 室長 福田 俊彦 委 員 東京都大田区立蒲田小 三浦晴代 先生 東京都江東区立第四砂町小 河野俊次 先生



開会挨拶

一般財団法人 総合初等教育研究所 理事長 水谷 邦照

シンポジウム

「新学習指導要領の全面実施を直前にして」

1 基調提案

「主体的・対話的で深い学び」に向けて～ 教授と活動のバランスに配慮した授業づくり ～
東京大学名誉教授 市川 伸一 先生

*案内状に記載した演題には、事務局の勝手により誤りがあり、上記のように変更となりました。お詫び申し上げます。

2 討 論


シンポジスト：東京大学 名誉教授	市川 伸一 先生
シンポジスト：帝京大学 教授	清水 静海 先生
シンポジスト：東京都多摩市立愛和小学校 校長	柏原 聖子 先生
シンポジスト：東京学芸大学附属世田谷小学校 教諭	西川 義浩 先生
コーディネーター：（一財）総合初等教育研究所 参与・前国土館大学教授	北 俊夫 先生

今回のシンポジウムでは、次のような視点から論議を深めます。

1. 現場での実施状況とその課題について
2. 課題の克服のための方策について
3. 目指す新しい授業づくりとは
4. 学習評価の在り方について

特別講演

「持続可能な未来を手渡すために」



私たちは、SDGs（持続可能な開発目標）とパリ協定によって次世代に持続可能な未来を約束しました。

この二つの約束で問われているものは何か、いま何をしなければならないのか、子供たちに何を伝えていかなければいけないのかを探ります。

キャスター
国谷 裕子 先生

閉会挨拶

一般財団法人 総合初等教育研究所 室長 梶井 貢

▼前年度のシンポジウムの様子

